

主に従事する支援員 7 名 回答率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			十分な広さを確保しており、感覚運動ができる遊具やスペース、個別対応の訓練室を設けています。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			人員配置基準は満たしており、現在の利用者数に対して適切な人員が確保できているが作業療法士や言語聴覚士の配置を検討していきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	<input type="radio"/>			当事業所は全室バリアフリーになっております。ロッカーやトイレなど名前やイラストで提示し視覚的に情報伝達を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている。	<input type="radio"/>			毎日、清掃チェックをして、サービス提供時間後には清掃を行っています。 活動内容によって活動室を変えるようにしています。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			日々の打ち合わせや職員会議で業務改善等の振り返りを行っています。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			アンケート調査を実施して保護者様の意向等把握し、業務改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			法人のホームページで公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていませんが、管理者会議等で評価を頂いた時には改善に繋げています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			毎月、法人内の職員研修や児童部での専門研修や、その他外部への研修へも参加しています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			保護者同席でアセスメントを行い、児童の様子や要望等聞き取り、計画書が作成されています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			なかよしランド・けやきで共有するアセスメントツールの見直しを行っています。適応行動の状況を図るため臨床発達心理士に相談アドバイスを受けています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容が選択され、そのうえで、具体的な内容が設定されている。	<input type="radio"/>			ガイドラインに基づく個別支援計画書の様式の変更と共にモニタリング後説明し、必要な支援の設定はしています。
	13	児童発達支援が支援計画に沿った支援が行われている。	<input type="radio"/>			児童発達支援管理者がチェックして見直しを行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		児童発達支援管理者が立案し、流れについてはリーダーを中心に行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			子どもたちが楽しく参加できるように環境を設定し、準備を怠らないようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			コミュニケーションが苦手な児童に対して個別的に配慮しながら無理なく集団へ移行できるようにしています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			打ち合わせを行い前日の事やその日の担当、活動等について確認や準備を行っています。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後、支援の振り返りを行い午後の打ち合わせ時や、ケース会議で周知をして共有しています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の記録を取ることは徹底しています。管理者・児童発達支援管理者チェックして気付いたことを担当職員に返しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを行い計画を作成し、児童発達支援管理責任者が見直しをして更新しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者者・担当職員参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	○		担当相談員・保健士との連携、保護者と連携し共有した支援を行っています。
	23	(医療時ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の支援をしている場合)地域の保健、医療、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当児なし			医師より、療育が必要な児童に対しての看護サマリや退院サマリに参加して、医療機関との連携を相談支援事業所を通して連携体制を整備しています。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	○		直接主治医ではなく、児童相談員や保健士と連絡を取り合っています。
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			保育所等訪問し、情報共有と相互理解に努めています。栃木県障がい児通園施設連合会で情報共有や相互理解に努めています。
	26	移行支援として小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			移行支援とまで至ってないが、特別支援学校と情報共有して支援を行っています。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○			県、市主催の研修を受けています。
	28	保育所や認定こども園との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	
	29	地域自立支援協議会等へ積極的に参加している			○	地域の自立支援協議会で児童の部の参加ができるよう行政に声をかけていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時やモニタリングに発達の状況や課題について共通理解しています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			療育の中で親子参加の活動を設定し、お子さんと遊びの関わり方や声のかけ方等ペアレント・トレーニングを実施します。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に質問等を受け丁寧な説明をしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			個別支援計画書やモニタリング時保護者さまに丁寧に説明をさせていただき同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			管理者・児童発達支援管理責任者・臨床発達心理士が必要な助言と支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			子育てトークや親子参加型の行事を開催し連携を支援している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情や相談等丁寧に対応し、今後の対応についても職員間で共有し体制を整えるようにしている。苦情があった場合法人へ報告をしている。

非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月の活動やなかよしランドだよりを発行し配布している。
	38	個人情報に十分注意している	○			事業所内で厳重に管理し職員にも周知徹底をしている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			利用時に話を聞き保護者の要望や必要な情報等を伝達している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○		親子ミュージックケアの案内を、兄妹や友達も参加できるように案内した。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者様には契約時に説明を行っている。法人のマニュアルを職員に周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年4回実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			アセスメントシートや保護者との連絡等により新しい情報を確認して共有している。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様のアセスメントシートよりアレルギーの一覧表を作成し、弁当のメニューを心配な保護者様に配布して職員間で共有している。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットファイルを作成し事業所内で共有している	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員でチェック表を行い虐待防止に努めている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			やむを得ず身体拘束を行う場合には、保護者様に事前に説明をし担当した支援員が記録を残し、職員間で共有をしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。